

# \ ICT技術を使った新しい技術 /



ICTってなに?

zzz…

Information and Communication Technology=「情報通信技術」の略。  
測量、設計・施工計画、施工、検査の一連の工程において3次元データなどを活用する技術じゃ。ICTのおかげで生産性が高まるのはもちろん、企業の経営環境の改善や賃金水準の向上、安全性などが高まるんじゃ。



## ① ドローン等による 3次元測量

ドローン等での写真撮影で、今までより簡単に3次元測量ができます。



## ② 3次元測量データ による設計・施工計画

3次元測量データと設計図面を比べて、どれくらい土を削ったり足したりするかわかるんだ。



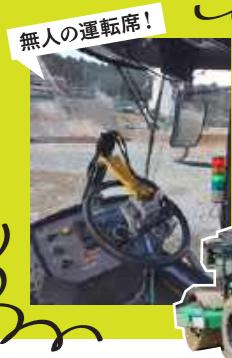
## ③ ICT建設機械 による施工

3次元設計データとGPS通信による位置情報を組み合わせることで、建設機械が自動制御で、1人で作業してくれる。



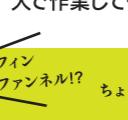
## ④ 検査の省力化

完成した構造物の形を3次元データで比べると、設計との違いがすぐに分かるので検査も楽チンじゃ。



## 大分川ダムでもICT建設機械による施工が行われた

運転席は無人で、ハンドル、アクセル、ブレーキなど全てにセンサーが付けられネットワークで管理されているんじゃ



現場監督の  
土橋建造さん



重機大好き  
ゲンちゃん

インテリ  
土木小学生  
秀一くん



それが土木の仕事です!



BUILD OITA

三人をつくるオレたちの仕事

おおいた建設ガイド

見よう! 知ろう!  
おおいたの土木

製作: 大分県建設産業魅力発信推進委員会

[大分県土木建築部、大分県教育庁、(公財)大分県建設技術センター、(一社)大分県建設業協会、  
(一社)大分県測量設計コンサルタント協会、国土交通省大分河川国道事務所]

話題の新スポット  
最新鋭のダムを見に行こう

## 最新の技術によって生まれた 「大分川ダム」ができるまで

資料提供:国土交通省大分川ダム工事事務所

新しい

こんな広いところに  
ダムなんて作れるの?

工事着工前空撮

1

川の流れをきりかえます

ダムをつくるところに川の水があると  
ダムをつくることができないので、  
川の流れを一時的にきりかえます。

2

ダム本体をつくります

大分川ダムは岩を積み上げてつくる  
「ロックフィルダム」です

4

ムチャ  
するよね~

ダムをつくるところを  
ひたすら掘ります

丈夫なダムを造るために、川の底や  
ダムの側面を掘削し、弱い岩盤や  
泥などを取りのぞきます。

3

ロ...ロケンロール!!!  
シェケナベイベ!

## 見晴らしも最高! 「宗麟大橋」ができるまで

資料提供:大分県大分土木事務所

2017年に完成した  
「宗麟大橋」ができるまでを  
見てみよう

川の中に作る時は  
どうしてるの?  
濡れちゃわないの?

1  
橋の土台  
(橋桁)

橋の土台作り

橋作りは、橋脚を作る工事から始めます

2  
宗麟大橋は計5つの橋脚から作られました

橋桁がキレイに  
架かりました

4

でっかい  
クレーンだ!

真っ白な  
橋だ!

3

橋桁を載せます  
橋脚の上にコンクリートや  
鋼材でできた橋桁を  
載せていきます

5

橋の床を作ります

橋桁にコンクリートを流しこみ、橋の床を作ります。  
これでどんなに大きな車が通っても大丈夫

宗麟大橋、爆誕!!

<大分川ダム>  
・集水面積:38.0km<sup>2</sup>  
・湛水面積:1.0km<sup>2</sup>  
・堤高:約92m  
・総貯水容量:約24,000千m<sup>3</sup>

すっげー!!!

俺たちも活躍!



大分川ダム完成!

新しい橋って  
キレイだろ!!

<宗麟大橋>  
・橋長:349.9m  
・幅員:30.5m~36.5m  
・上部構造形式:鋼6径間連続非  
合成鋼桁橋(こう6けいかんれん  
そくひごうせいぱんけつきょう)

俺たちも活躍!



インフラをつくって  
守る仕事の流れ

インフラって  
なに?

道路とか水道とか  
みんなの生活になくてはならない生活の  
基礎になるものじゃ

1.計画  
どこにどんな  
インフラを作るか  
考えます



2.測量・調査  
土地の形を測ったり、  
地盤を調査したりします



3.設計  
インフラの  
デザインを決めます



4.工事  
ドコッ!  
コンクリートや  
鋼材、木材などを  
使って構造物を作ります



5.維持管理  
完成し使い始めた後は  
定期的に点検し、  
必要に応じて修繕します

